

# 2025年

# 和歌山県立高等看護学院 フィールドワーク



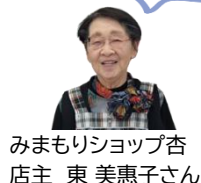
1年生12名が、3つのグループに分かれて地域で活躍する方々と  
“出会い、つながる”

～医療と暮らしの架け橋になりたい～

## 地域の居場所で“出会い、つながる”



ホッとできる居場所でありたい



みまもりショップ杏  
店主 東 美恵子さん

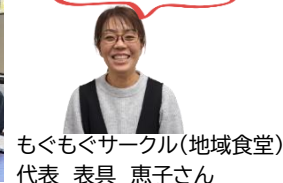
学生の気づき  
(芽生え)

杏は“元気になれる居場所”。こんな居場所が欲しい。コミュニケーションを大切にして、暮らしの架け橋になりたいです。

## 子育て支援で“出会い、つながる”



一緒に笑い合う仲間が大切



もぐもぐサークル(地域食堂)  
代表 表具 恵子さん

学生の気づき  
(芽生え)

活動の場があることが仲間づくりや、地域での支え合いにつながっている。孤独を感じず、暮らしていくことができる。孤独感に気づき、寄り添える看護師になりたいです。

## 98歳ひとり暮らしと“出会い、つながる”



興味関心を持ち続ける



笠田東地区 在住  
武井 建登さん

学生の気づき  
(芽生え)

年を重ねることはマイナスではない。前向きな姿勢や興味関心をもつことに年齢は関係ない。暮らしやすい地域のために、それぞれの年代が互いに近づく意識をもつことが大切だと感じた。自分から行動を起こせるようになりたいです。

学生にとっては、“生きた学び”、地域にとっては“若いチカラ”との交流。  
世代を超えたつながりが生まれました。